

相談援助事例

総合相談事例

事例 No. 1	ライフラインの復旧と生活保護受給までの生活支援		地域	F市			
主な対象者	性別	世帯の特徴	<input type="checkbox"/> 高齢	<input type="checkbox"/> 児童	<input type="checkbox"/> 母子・寡婦	<input type="checkbox"/> 身体障がい	<input type="checkbox"/> 知的障がい
	男		<input type="checkbox"/> 精神障がい	<input type="checkbox"/> 外国籍	<input type="checkbox"/> ホームレス		
	年代		<input type="checkbox"/> 虐待	<input type="checkbox"/> DV	<input type="checkbox"/> 引きこもり	<input type="checkbox"/> 病気(骨折)	<input type="checkbox"/> アルコール依存
	50代		<input type="checkbox"/> 認知症				
	世帯		<input type="checkbox"/> 多重債務	<input checked="" type="checkbox"/> 各種滞納	<input type="checkbox"/> 無収入	<input checked="" type="checkbox"/> 不就労	<input checked="" type="checkbox"/> 生活保護
単身	<input type="checkbox"/> その他()		
紹介経路	市役所生活支援課生活保護担当						
相談内容	<p>平成●年1月～F市の自宅の電気・ガスが止まり、4月～水道が止まっていたが、本人は仕事でK市にいた為、生活に影響がなかった。4月に失業し自宅に戻り、5月頃から生活費が底をつき始めたので、日雇い仕事や友人の紹介の単発仕事で何とか繋いでいたが、朝早く家を出て夜遅く帰ってくる生活の為ライフラインの止まった家に住み続けていた。</p> <p>8月20日 F市生活支援課に生活保護を申請。</p> <p>8月21日 生活保護担当から生活困窮者レスキュー事業でのライフラインの復旧と保護開始までの生活支援の依頼がある。</p>					<p>家族関連図</p> <pre> graph TD P1[■] --- P2[●] P1 --- C1[□] P1 --- C2[○] subgraph Box [] C1 end </pre>	
対応 (相談・支援の内容)	<p>8月21日 訪問時には食事も満足に取れておらず激ヤセで、声も出にくい状態であった。同日ライフラインの復旧(電気・ガスは社貢献の活用、水道は市から水道局に支払いを延期を依頼)。</p> <p>保護開始までの朝食の食材として、パン・卵・牛乳を支援。昼食、夕食は施設で提供する事とする。</p> <p>8月26日 生活支援課のソーシャルワーカーが同行しハローワークで就職活動を開始。携帯電話の利用料金の滞納分を社貢献で支援し、復旧させる。</p> <p>8月31日～高齢者施設にて体力回復とコミュニケーション力をつけるために就労訓練を開始。</p> <p>9月2日 CSWがサポートし、パソコンで職務経歴書の作成を始める。</p> <p>9月4日 生活保護費を受給開始。その後も、CSWが寄り添い、就職活動のサポートを継続。</p>						
社会資源の活用	大阪府社協の生活困窮者レスキュー事業を活用 生活保護						
経済的援助	生活困窮者レスキュー事業で53,279円・・・電気代・ガス代 12,997円、携帯電話代 38,202円、朝食食材支援 2,080円 生活サービス費(昼食・夕食) 15,000円は施設支援とする。						
連携機関	生活支援課、社会貢献支援員、ハローワーク、CSWと連携						